
ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット) 事業概要について (薬局用)

一般社団法人 広島県医師会

2026.1

HMネットとは

広島県、広島県医師会が構築し運営するひろしま医療情報ネットワーク (Hiroshima Medical Network)の愛称です。

HMネットは、患者様の診療情報を地域の医療機関に開示することによって医療情報を共有し、適切で切れ目のない医療や介護を提供するための地域医療連携ネットワークです。広島県から広島県全域を網羅する医療連携ネットワークの構築について要請があり、2011年度～2013年度に交付を受けました地域医療再生基金をもとに2011年度より仕様の検討を行い、2013年6月より運用を開始しました。2014年度以降は医療介護等総合確保基金の交付を受け、参加施設の拡大や機能の拡充を行ってまいりました。

HMネットに参加した医療機関は、診療情報開示病院の診療情報を参照できます。また、HMネットで稼働中のグループウェアであるHM-Box（ファイル一時共有システム）やオンラインお薬手帳、ひろしま健康手帳ビューワ（P46）などを使用できます。

診療情報開示病院一覧

最新情報はHMネットホームページにて
ご確認ください。

地区	病院	カード	患者 一覧	地区	病院	カード	患者 一覧
広島市	安芸市民病院	HM	○	三原市	興生総合病院	HM	
	安佐医師会病院	HM	○	尾道市	尾道総合病院	開示	
	荒木脳神経外科病院	HM	○		尾道市立市民病院	HM	○
	五日市記念病院	HM	○	福山市	井上病院	HM	
	県立広島病院	-			脳神経センター大田記念病院	HM	○
	県立二葉の里病院	HM	○		中国中央病院	HM	○
	シムラ病院	HM	○		寺岡記念病院	HM	○
	土谷総合病院	HM	○		日本鋼管福山病院	HM	
	広島記念病院	HM	○		沼隈病院	HM	○
	広島共立病院	HM	○		福山医療センター	HM	○
	安佐市民病院	HM	○		福山市民病院	HM	○
	広島市民病院	HM	○	府中市	府中市市民病院	HM	○
	舟入市民病院	HM	○	神石郡	神石高原町立病院	HM	○
	広島市立リハビリテーション病院	HM	○	三次市	市立三次中央病院	HM	○
	広島赤十字・原爆病院	開示			三次地区医療センター	HM	○
	広島大学病院	開示	○	庄原市	庄原赤十字病院	HM	○
	ヒロシマ平松病院	HM	○	大竹市	広島西医療センター	HM	○
	吉島病院	HM	○	東広島市	県立安芸津病院	HM	○
原田病院	HM	○	東広島医療センター		HM	○	
呉市	中国労災病院	HM	○	廿日市市	広島総合病院	HM	○
	呉共済病院	HM	○	安芸高田市	吉田総合病院	HM	○
	呉医療センター	HM	○	安芸郡府中町	マツタ病院	HM	○
	呉市医師会病院	HM	○				

参加施設数について

2026年1月末

医科	開示病院	45
	開示病院以外	431
	開示病院以外(県外)	3
歯科		8
薬局		202
在宅施設等		456
総計		1142施設

参加施設はHMネットホームページ（参加施設検索）でご確認下さい。

<https://www.hm-net.or.jp/hospital/search/index.php>



2種類のカードについて

HMネットは患者さんにカード（診療情報開示カード、HMカード）を提供して運用を行っている。
患者さんはカードをご自身の診療情報やお薬情報などを見てもらいたい医療機関に提示することにより情報閲覧が可能となる。

開示カードについて

診療情報開示・参照システムに特化したカードである。HMネットは、運用開始時、診療情報開示・参照システムのみを運用していたため、本カードのみで運用していた。

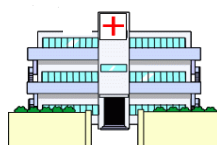
開示カードを取り扱っている診療情報を開示する病院で発行しており、患者さんは開示病院で受けた診療情報をかかりつけ医に参照してほしいときに、対象開示病院で発行された開示カードを提示する。



開示病院



開示病院



開示病院



広島 太郎さんが、広島赤十字・原爆病院、広島大学病院、広島市民病院に通院していた場合、それぞれの病院で診療情報開示カードの発行に同意をし、カードを受け取る。
広島 太郎さんが、Kクリニックを受診した時に見てほしい病院の診療情報開示カードを提示することにより対象病院の情報のみ見てもらえる。

3病院のうち、広大の診療情報をKクリニックの先生にみてもらいたい。
広大の診療情報開示カードをKクリニックに提示しよう。



広島 太郎



【利用可能機能】
診療情報開示・参照システム

2種類のカードについて

HMカードについて

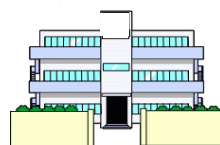
HMネットに参加している複数の医療機関の診療情報を結びつけるための地域共通ID番号をQRコードに格納したカードである。現在は、主にHMカードを取り扱っている開示病院、薬局等で発行しており、行く先々のHMカードを取り扱っている開示病院や薬局で名寄せを申請する（QRコードを読み取る）ことで、診療情報の連結が進む。



A 開示病院



B 薬局



C 開示病院



D 薬局



地域共通ID(34012345678)

地域共通ID(34012345678)

地域共通ID(34012345678)

地域共通ID(34012345678)

施設名	施設コード	患者ID
A開示病院	02,2205,7	0000897

施設名	施設コード	患者ID
A開示病院	02,2205,7	0000897
B薬局	01,4501,3	0097851

施設名	施設コード	患者ID
A開示病院	02,2205,7	0000897
B薬局	01,4501,3	0097851
C開示病院	01,1013,8	8956789

施設名	施設コード	患者ID
A開示病院	02,2205,7	0000897
B薬局	01,4501,3	0097851
C開示病院	01,1013,8	8956789
D薬局	43,4018,0	0256987

広島 太郎さんはA開示病院で、HMカードの発行に同意し、HMカードを受け取る。A開示病院の診療情報が他施設から参照可能になる。

広島 太郎さんはB薬局にHMカードを提示する。B薬局はHMカードの読み込みを行う（名寄せ）。A開示病院の診療情報、B薬局のお薬情報が他施設から参照可能になる。

広島 太郎さんはC開示病院にHMカードを提示する。C開示病院はHMカードの読み込みを行う（名寄せ）。A、C開示病院の診療情報、B薬局のお薬情報が他施設から参照可能になる。

広島 太郎さんはD薬局にHMカードを提示する。D薬局はHMカードの読み込みを行う（名寄せ）。A、C開示病院の診療情報、B、D薬局のお薬情報が他施設から参照可能になる。

2種類のカードについて

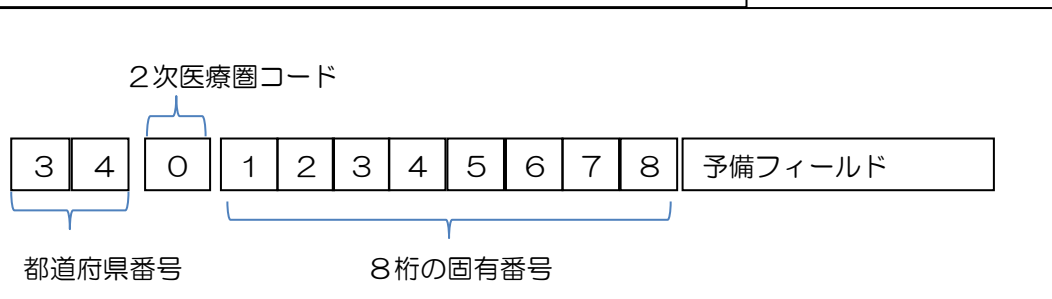
HMネットでは、広島県内で唯一の共通IDを発行し、共通IDに対して名寄せを行うことによって医療機関間の紐付けを行う。HMカードのQR自体には地域共通IDのみ格納されており、個人認証として使用し、サーバーに蓄積されている診療情報や処方・調剤情報などを参照する。

地域共通IDを使い、医療情報を連結することにより、災害や救急時に迅速な対応を行えるように備える。

また、地域共通IDは国で進めている医療等共通IDの対応として、地域共通IDの中に予備フィールドを設けている。



HMカード（地域共通IDの構成）



【利用可能機能】

診療情報開示・参照システム、地域連携パスシステム、電子お薬手帳システム、在宅医療支援ツール、健診・検査共有システム、ひろしま健康手帳、救急支援・災害対策システム(運用準備中)など

1枚のカードでA開示病院とC開示病院の診療情報、BとDの薬局の調剤情報を見てもらえるので、便利！

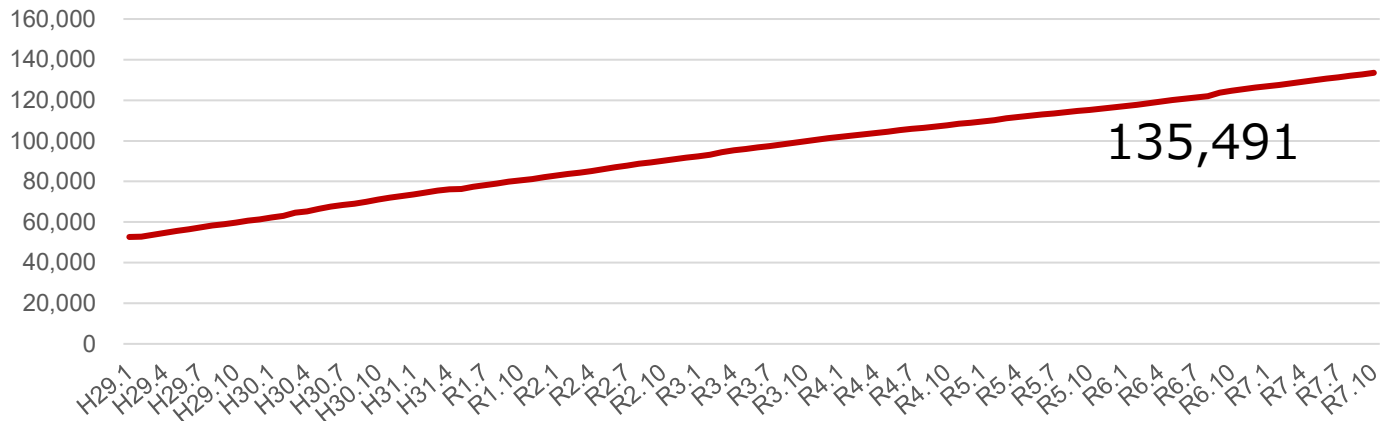


診療情報開示病院において、現在、診療情報開示カードを発行し運用している病院とHMカードを発行し運用している病院がある。開示病院の意見を考慮しながら、HMカードへの変更を推進し、HMカードに集約していきたい。

カード発行枚数の推移について

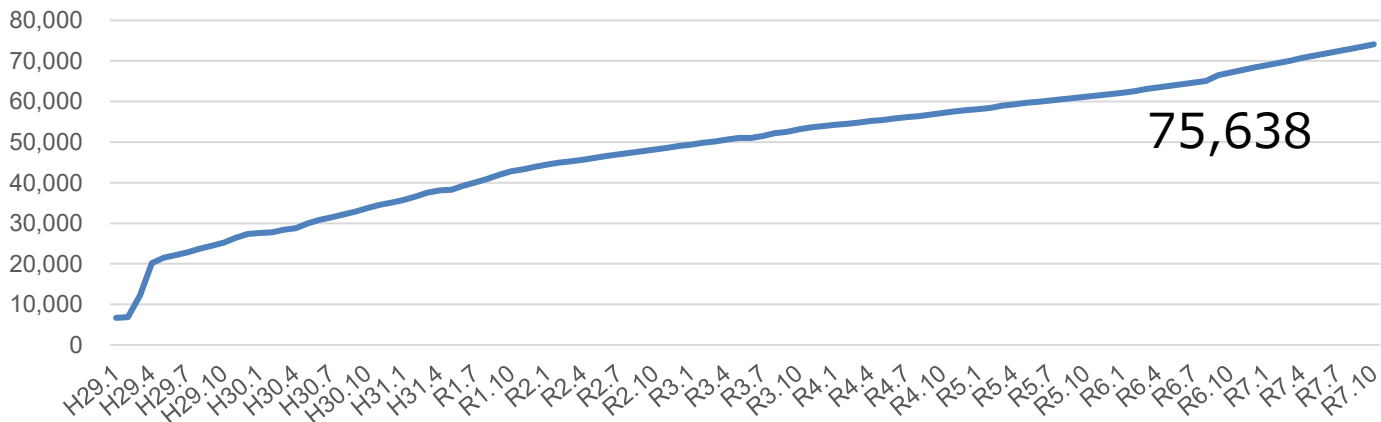
2026年1月末

診療情報開示カード発行枚数推移



135,491

HMカード発行枚数推移

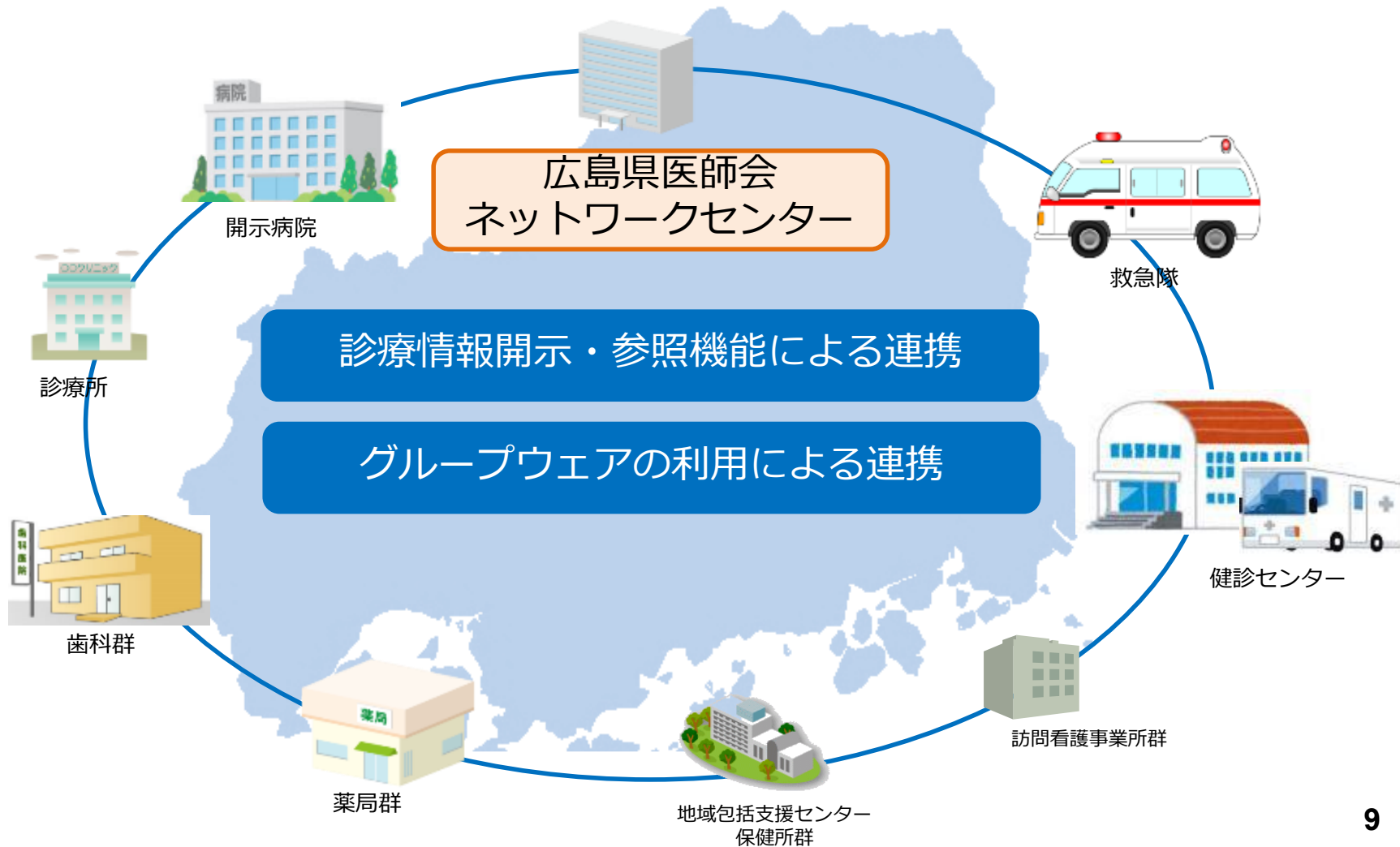


75,638

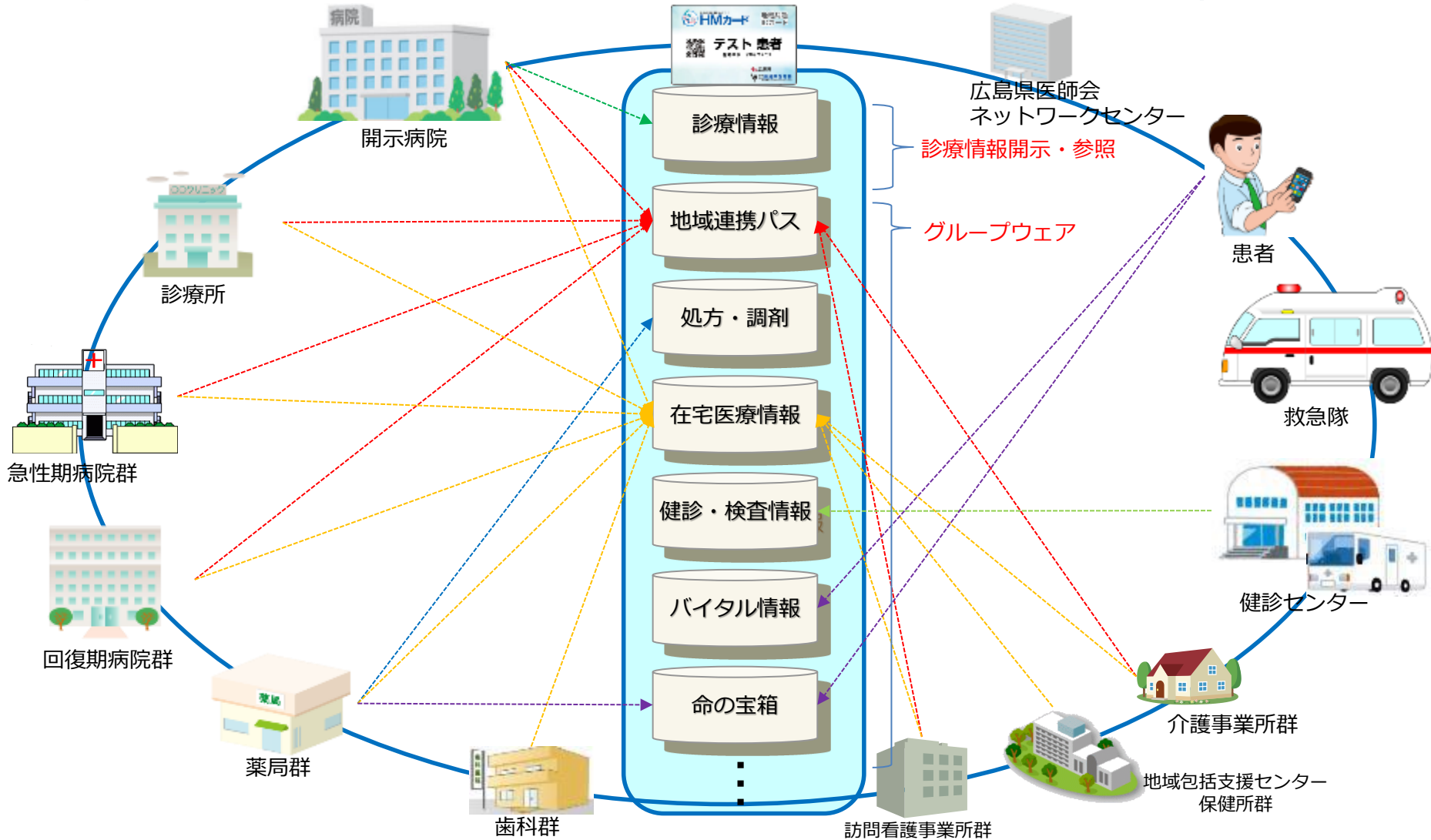


HMネットのコンセプト

圏域や職種に制限されない医療情報の連携を目指す

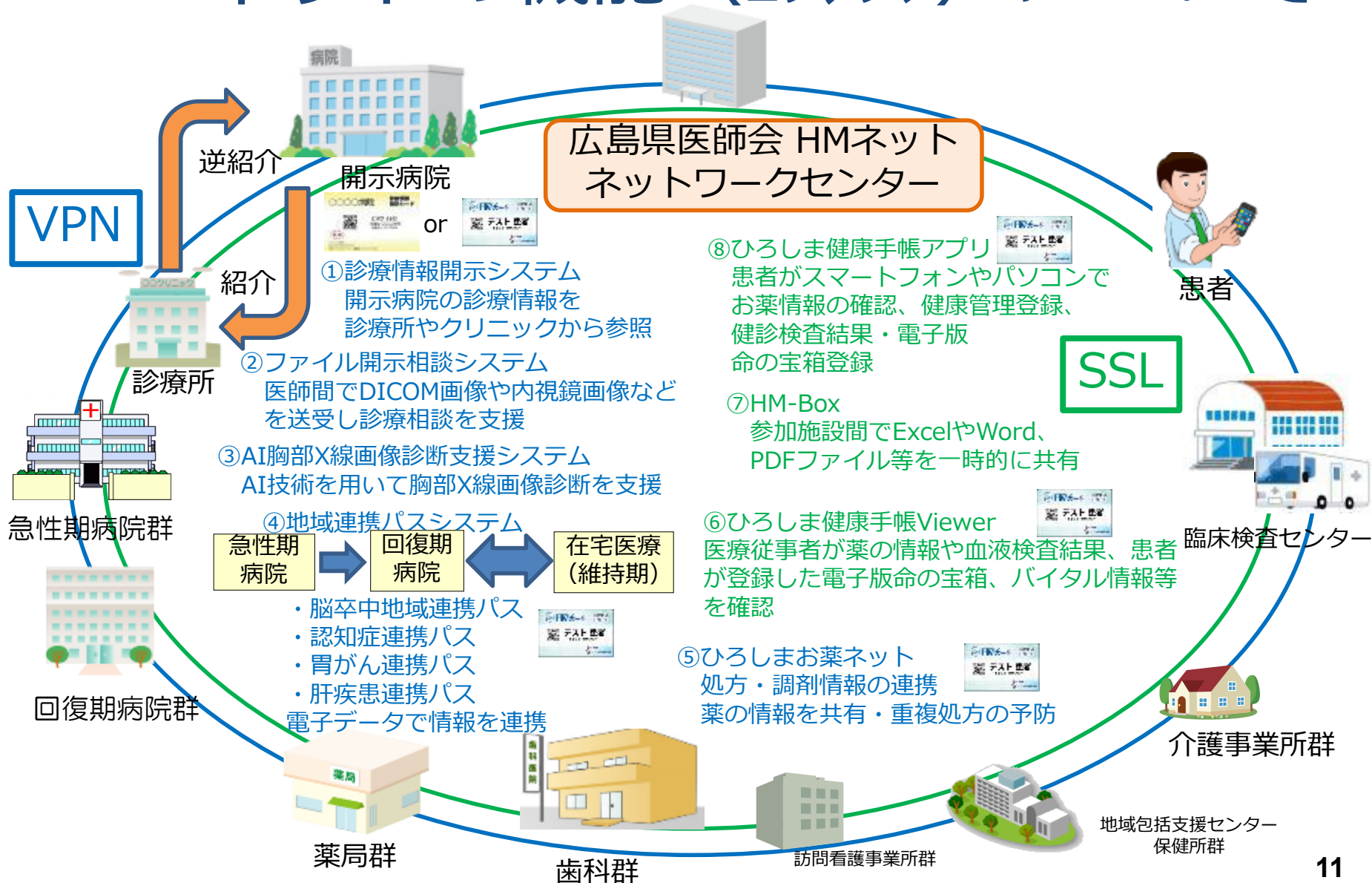


県全域で使用できる共通ネットワークインフラの構築



診療情報の開示・参照もグループウェアの利用も病院枠、医師会枠、2次医療圏枠などに制限されない
 すべての情報がHMカード1枚で参照可能
 参加全施設で利用可能（利用権限をアプリケーションで制限）

HMネットの機能（コンテンツ）について



2種類の通信方式

通信方式	説明	利用機能
VPN (IPSec-Ike)	<p>通常利用しているインターネット回線を電子証明書をインストールする事により、あたかも専用回線のように使用する技術である。</p> <p>データをコンピュータへ届けるための入れ物のような役割であるIPパケットを暗号化し、内容を他者に読み取らせない状態にして安全に接続する仕組みである。各拠点のLAN同士を接続するのに最もセキュリティ性の高い接続方式として、導入されている。</p>	<p>診療情報開示・参照システム ひろしまお薬ネット など</p>
SSL(TLS)	<p>インターネット上の通信(やり取り)を暗号化することで、盗聴やなりすましなどを防ぐ仕組みである。</p> <p>ウェブサイトにSSLを導入すれば、サービスの安全性や信頼性を高めることができる。クレジットカードなどの重要なデータを送受信する際に用いられている。</p>	<p>ひろしま健康手帳ビューワ HM-Box など</p>

2種類の通信方式ともに医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに準拠している

薬局でできること

・電子お薬手帳の利用

電子お薬手帳を利用して他の薬局の調剤情報を閲覧可能

・診療情報の参照

基幹病院の診療情報(検査結果、病名、処方歴など)の参照

・患者の健康情報や命の宝箱の閲覧

患者が自ら入力した健康情報や救急医療シートを閲覧

・HMカードの発行・名寄せ

患者にHMカードの発行、すでにカードを持っている患者には自施設の登録(名寄せ)を行う

・処方・調剤情報の集約と閲覧

レセコンに入力した処方・調剤をHMネットセンターサーバーに集約し、共有

HMネットの起動

HMネット接続手順

・HMネット（VPN）接続

VPN（仮想ネットワーク）接続とは、ソフトウェアの技術を用いて仮想の専用線（特定の人のみが利用でき、盗聴や侵入ができないようにした回線）を設け、通信の安全を確保する仕組みです。



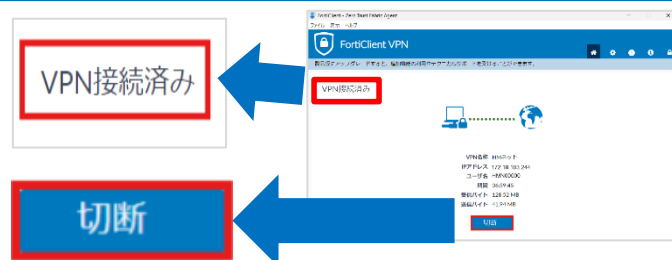
デスクトップ上の「HMネット接続」アイコンをダブルクリック。

「ユーザ名」に [HMネット接続用ID]、
「クライアント証明書」に [hmnet-forti.hmnet]
が表示されていることを確認。
「パスワード」に、VPNパスワード(数字8ケタ)
を入力し、「接続」ボタンをクリック。

接続が正常に完了すると、
タスクバーのアイコンが南京錠付き
のアイコンに切り替わります。
(アイコンが表示されない場合は、
[^] をクリックして隠れている
アイコンを表示します)

タスクバーのアイコンが表示されない等、
接続状況が確認できない場合は、「HMネット接続」アイコンを
ダブルクリックしてください。

FortiClientVPN画面が開き、「VPN接続済み」と表示され、
「切断」ボタンが表示されていれば、接続されている状態です。



※ HMネットに接続時は通常のインターネット回線を利用した閲覧等はできない状態となります。

HMネット起動手順

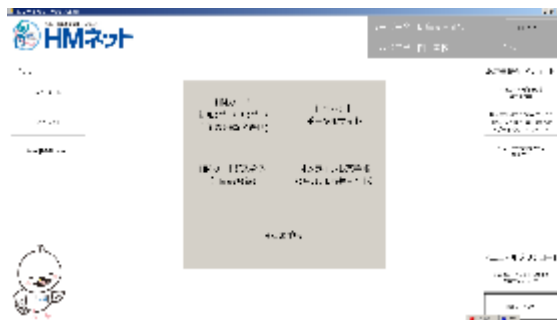
HMネットランチャーを起動



①デスクトップ上にあるHMネットランチャーアイコンをダブルクリック。



②ユーザーIDとパスワードを入力後、ログインをクリック。



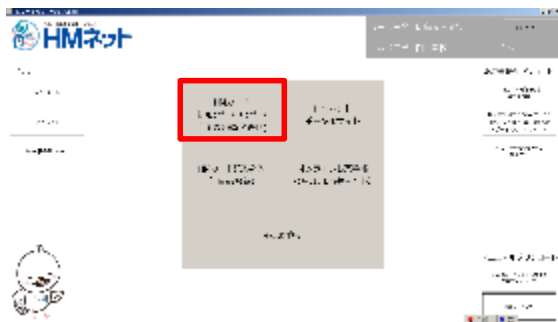
③HMランチャーのメニュー画面が起動

HMカードの発行・名寄せ

HMカードの発行手順は新規発行とWeb申請による発行の二種類あり、発行手順が異なります。

HMカードの発行（新規発行） Vol1

レセコンに登録がある患者のみ新規発行が可能です。登録がない患者はHMネットのホームページからWeb申請、もしくは申請書をダウンロードして申請するようおすすめください。Web申請の発行手順はP20をご覧ください。



① HMカード新規発行/再発行/
自施設登録(名寄せ)をクリック



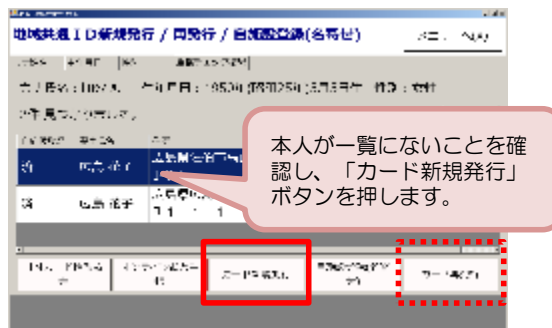
② 患者のカナ氏名を入力し、
「次へ」を選択



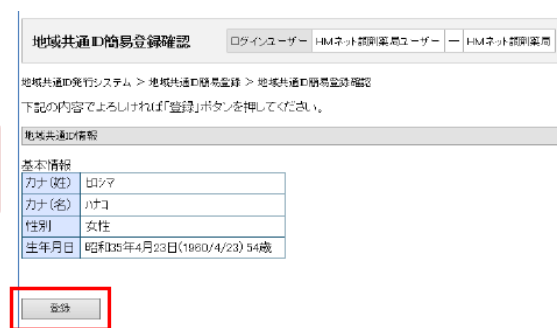
③ 患者の生年月日を入力し、
「次へ」を選択



④ 患者の性別を選択し、
「次へ」を選択



⑤ 入力した条件で登録されている人を一覧表示。本人が一覧にないことを確認後、「カード新規発行」を選択。（紛失の場合は「再発行」を選択）



⑥ 入力した内容を確認後、
「登録」を選択

HMカードの発行（新規発行） Vol1

地域共通ID簡易登録完了

地域共通ID発行システム > 地域共通ID簡易登録 > 地域共通ID簡易登録確認 > 地域共通ID簡易登録完了

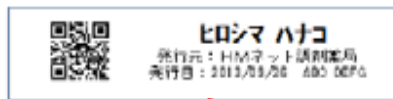
※戻る画面に戻る

地域共通ID情報の登録が完了しました。

地域共通ID情報

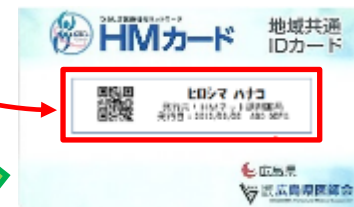
地域共通ID	34203011558	QRコード	バーコード印字	登録内容/同意書印刷
カナ性	ヒロシマ	ヒトイ「都道府県(または国)」	静岡県	
カナ名	ハナコ	ヒトイ「男性の名前(カナ)」	タカノ	
性別	女性	ヒトイ「女性の名前(カナ)」	リン	
年齢	昭和35年4月23日(1960/4/23) 54歳			

⑦地域共通IDが採番され、ラベルプリンターを接続し電源投入後「バーコード印字」と「登録内容/同意書印刷」を行う



ラベルプリンターは電源のみに緑のランプが点灯した状態で印刷して下さい。

⑧印字したQRコードのシールをHMカードの台紙に貼る。



⑨メニュー画面に戻り、「HMカード読み込み（自施設登録）」を開きQRコードをリーダーで読み取る。

<同意書>

患者に記入していただいた後、回収してください。

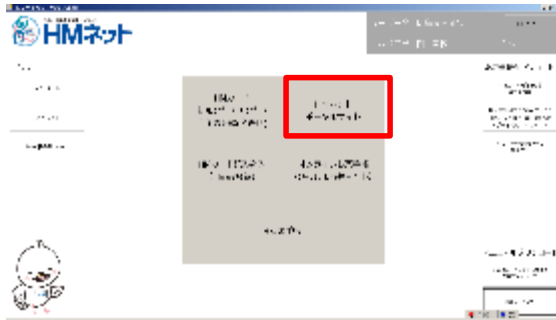
<登録内容>

<個人情報取扱規定>

⑩同意書は記入して頂き、2カ月以内に事務局へ送付。HMカードと一緒に、「HMカード登録内容と利用方法」「個人情報の取扱いについて」の文書を患者に渡す。

HMカードの発行（Web申請） Vol2

Web申請でHMカードのお受取希望施設で貴社をご希望された場合、事務局より「HMカードWeb申請一覧」のFAXが届きます。受取希望日までにHMカードの印刷を行いご用意をし、引渡しをお願い致します。



① HMネットポータルサイトをクリック



② 左メニューの「ユーティリティ」を選択し「地域共通ID発行・名寄せシステム」をクリック



③ 「バーコード印刷一覧(Web申請)」をクリック

バーコード印刷一覧(Web申請)

No.	HMカード	発行希望日	施設名	漢字名	カタカナ名	生年月日	郵便番号	住所	申請日
1	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
2	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
3	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
4	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
5	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
6	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
7	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
8	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
9	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13
10	4K010E	2017/02/01	三島東病舎	てすと 2020	テト	平成28年1月1日(2016/1/1)	129-1204	住所1	2017/2/13

④ 自施設で受取を希望されている方のWeb申請一覧が表示される

バーコード印刷一覧(Web申請)

地域共通ID発行システム > バーコード印刷一覧(Web申請)

台頭で検索する(登録チェック)

検索条件

施設ID: 施設検索

施設名:

QRコード印刷済み 表示しない 表示する

検索

※すでに印刷されたり表示されていない場合はQRコード印刷済みで「表示する」にチェックを入れて検索する

No.	施設名	HMカード
1	てすと 2020	4K010E

情報照会

⑤ 「情報照会」をクリックすると「地域共通ID情報照会」画面へ切り替わる

HMカードの発行 (Web申請) Vol2

地域共通ID簡易登録完了

地域共通ID発行システム > 地域共通ID簡易登録 > 地域共通ID簡易登録確認 > 地域共通ID簡易登録完了

地域共通ID情報の登録が完了しました。

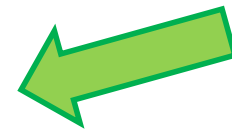
地域共通ID情報

地域共通ID	24203011538	QRコード	バーコード印字	登録内容/同意書印刷
カナ姓	ヒロシマ	ヒント1「都道府県(または国)」	静岡県	
カナ名	ハナコ	ヒント2「男性の名前(カナ)」	タカノ	
性別	女性	ヒント3「女性の名前(カナ)」	リン	
年齢	昭和35年4月28日(1960/4/28) 54歳			

⑦印字したQRコードのシールをHMカードの台紙に貼る (レセコンに登録がない患者は「HMカード読み込み(自施設登録)」はしない。登録がある患者のみ自施設登録を行う。)



⑥地域共通IDが採番され、「バーコード印字」、「登録内容/同意書印刷」を行う



同意書

患者に記入していただいた後、回収してください。

登録内容

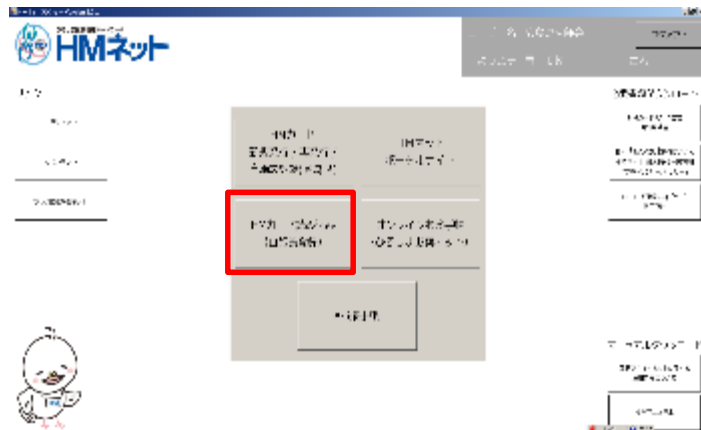
個人情報取扱規定

<個人情報取扱規定>

⑧同意書は記入して頂き、2カ月以内に事務局へ送付。HMカードと一緒に、「HMカード登録内容と利用方法」「個人情報の取扱いについて」の文書を患者に渡す。

名寄せ（自施設登録）

HMネットに登録された患者様の情報へ自施設を追加します。
名寄せを行うことで患者様の処方・調剤データの送信が可能になります。



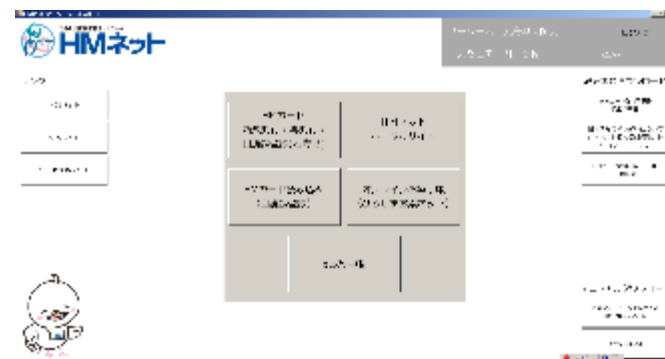
①「HMカード読み込み」をクリック



②QRコード読み取り画面が表示



③HMカード（もしくはひろしま健康手帳アプリ）のQRコードを読み取り

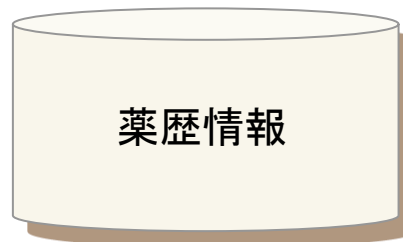


④正しく読み取れた場合は、メニュー画面に戻る

処方・調剤情報の集約と閲覧

処方・調剤情報をサーバーに蓄積

HMネットセンターサーバ



薬局の「ひろしまお薬ネット」には即日、患者さんの「ひろしま健康手帳」には翌日にお薬情報が反映される。

ネットワークを使って自動連携



処方・調剤情報



調剤レセコン



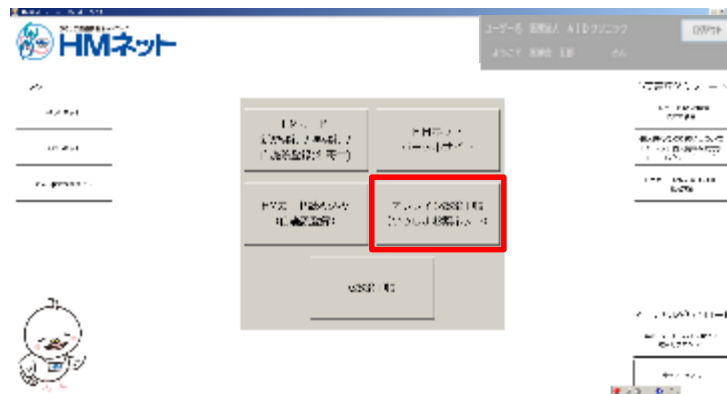
USBなどの外部媒体を使って手動連携



調剤レセコンからの情報とHMネットに登録した情報を照合。

患者氏名、性別、生年月日が一致すれば処方・調剤情報をサーバーに蓄積

処方・調剤情報を参照(ひろしまお薬ネット)



①「オンラインお薬手帳」をクリック



②HMカードのQRコードを読み取り



③当該患者のお薬手帳画面が表示。
照会後は、画面右上のxボタンで閉じる

青いカレンダー部分をクリックすると処方・調剤情報が開ける

下線のついているお薬はクリックすると添付文書が開ける。(約1ヶ月に1回更新)

電子お薬手帳の利用

電子お薬手帳の利用

HMネットでは、平成30年7月より電子お薬手帳連携機能が追加しました。これまでもHMネットでは調剤情報を蓄積することができていましたが、HMネットのみで電子お薬手帳として扱うことはできませんでした。このたび、調剤報酬上求められている仕組みが実現できるようになりました。

具体的には

HMネットにスマホアプリ「eお薬手帳3.0」をリンクさせることで、電子お薬手帳の機能を追加しています。



薬局側：HMネットを通じてeお薬手帳3.0に調剤情報書き込み・他薬局の調剤情報を閲覧

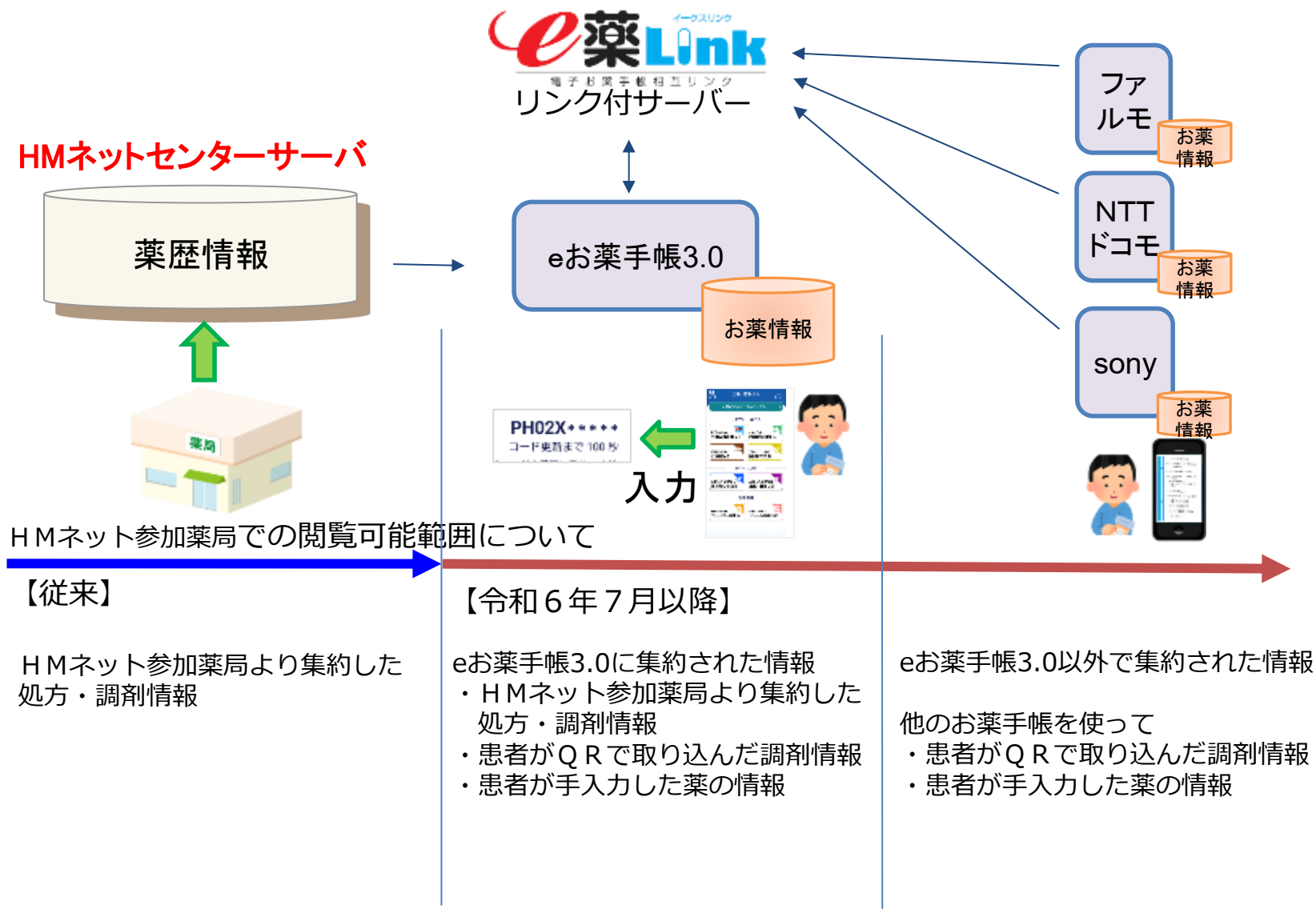
患者側：HMネットにリンクしたeお薬手帳3.0で自己データの閲覧・追記

注意：スマートフォンアプリの使用が大前提です

※ 日本薬剤師会が提供しているe薬Link（イークスリンク）に対応している電子お薬手帳のワンタイムコードを読み込み、閲覧した場合は調剤報酬の算定対象となります。

※ ひろしまお薬ネットはHMネットの「ひろしま健康手帳」との連携が完了しているHMカードを読み込み、閲覧した場合のみ調剤報酬の算定対象となります。

電子お薬手帳の利用



薬局で電子お薬手帳を活用する

電子お薬手帳の役割は紙のお薬手帳同様、お薬情報の一元管理・閲覧です。
いくつかの方法があります。

eお薬手帳3.0におけるワンタイムコードを用いた閲覧

HMカードを用いた閲覧

履歴を用いた閲覧(2回目以降の患者さんのみ)

eお薬手帳3.0以外の電子お薬手帳アプリの閲覧

eお薬手帳3.0におけるワнтаイムコードを用いた閲覧

① 患者さんのeお薬手帳3.0アプリにてワнтаイムコードを発行



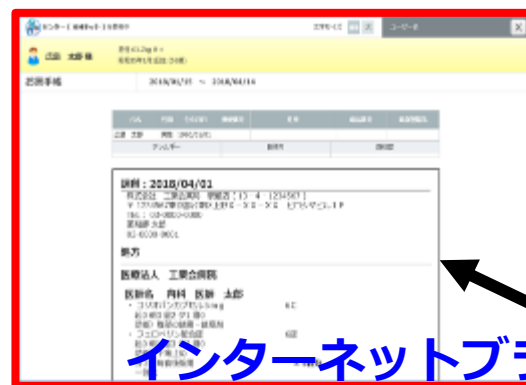
※「常に共有」の共有コードは連携不可

eお薬手帳3.0におけるワンタイムコードを用いた閲覧

② 「eお薬手帳」 ボタンから「ワンタイムコードでお薬手帳情報閲覧」を開く



③ 患者さんのワンタイムコードを入力

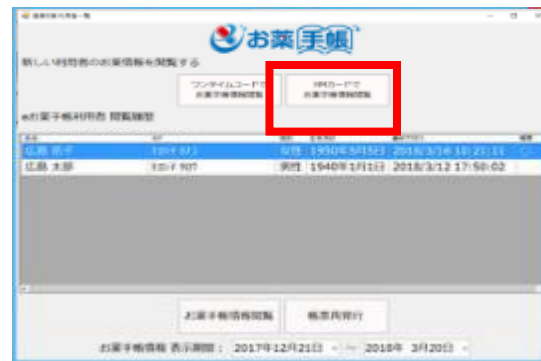


※ワンタイムコードでお薬手帳を閲覧する場合は、参照当日から過去365日までしかお薬の情報を参照できません。

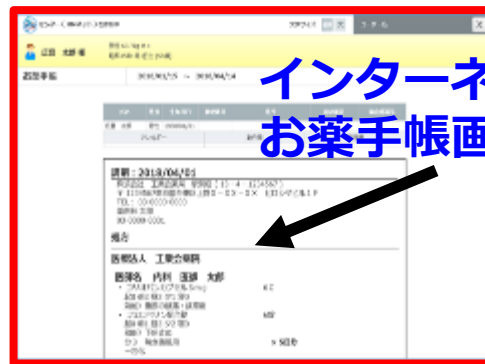
インターネットブラウザが起動し、お薬手帳画面が表示される

HMカードを用いた閲覧

- ①患者さんがHMカードとeお薬手帳3.0の連携作業をした後に「eお薬手帳」ボタンから「HMカードでお薬手帳情報閲覧」を開く



- ②患者さんのHMカード（もしくはひろしま健康手帳アプリ）のQRコードを読み込む



インターネットブラウザが起動し、お薬手帳画面が表示される

連携作業を行うと、次回からお薬情報が自動更新される為、患者さんは明細書等のQRコードを読み込む必要がなくなる

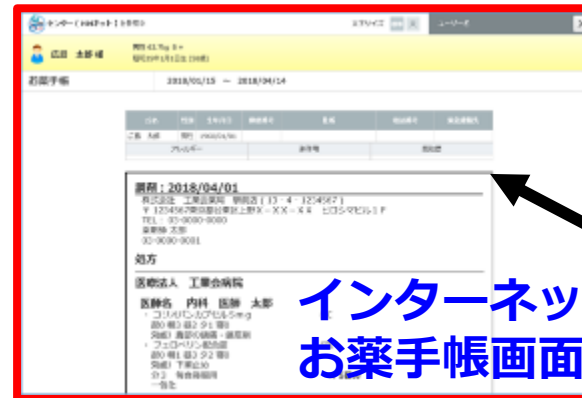
履歴を用いた閲覧（2回目以降の患者さんのみ）

① 「eお薬手帳」 ボタンからeお薬手帳連携専用画面を開く



これまでHMカードを用いた閲覧をした患者さんが一覧で表示される。

② 患者さんを選択して「お薬手帳情報閲覧」ボタンを押す



インターネットブラウザが起動し、お薬手帳画面が表示される

eお薬手帳3.0以外の電子お薬手帳アプリの閲覧

①患者さんの電子お薬手帳アプリにてワンタイムコードを発行



- ワンタイムコードの発行方法は電子お薬手帳アプリによって異なります。患者さん自身に確認してもらいましょう。
- 今後、医療情報連携ネットワークを活用していくことを考慮すると、「eお薬手帳3.0」への移行を推奨していくことが望ましいです。

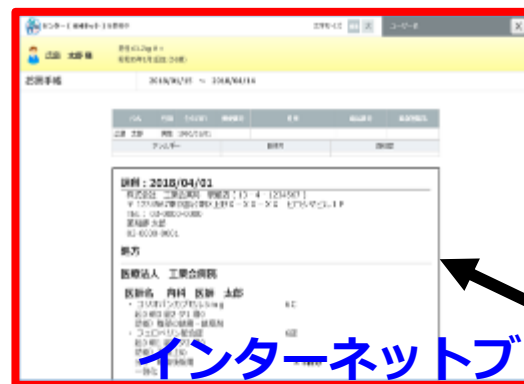
※画面のレイアウトはアプリによって異なります。

eお薬手帳3.0以外の電子お薬手帳アプリの閲覧

② 「eお薬手帳」 ボタンから「ワンタイムコードでお薬手帳情報閲覧」を開く



③ 患者さんのワンタイムコード（QRコードもしくはコード文字列）を読み込む



インターネットブラウザが起動し、お薬手帳画面が表示される

診療情報開示・参照機能による連携 (診療情報の参照)

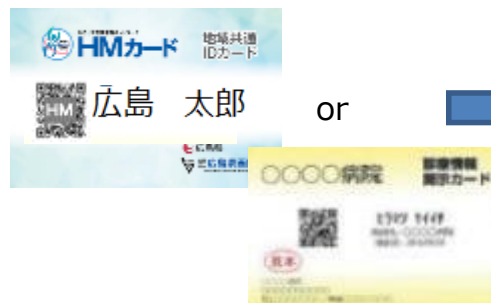
診療情報開示・参照システムについて

診療情報開示・参照システムは地域の基幹病院が診療した情報を地域のかかりつけ医が参照するシステムである。



開示病院

開示先設定
開示情報設定
開示期間設定
同意書発行



or



広島 太郎

開示病院が患者から情報開示の同意をとる

HMカード（または 診療情報開示カード）を発行（すでにHMカードをお持ちの場合は名寄せ）し、患者に渡す



かかりつけ医は開示病院の広島 太郎さんの診療情報を参照する



診療所



認証



患者はHMネットに参加しているかかりつけ医にカードを提示する

診療情報参照（閲覧）の手順

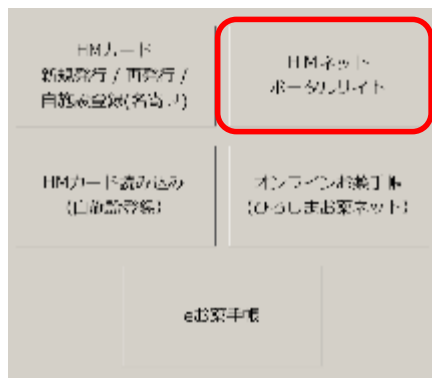
ポータルサイトより診療情報を参照



①デスクトップ上にあるHMネットランチチャージャーアイコンをダブルクリック。



②ユーザーIDとパスワードを入力後、ログインをクリック。



③HMネットポータルサイトをクリック。




④他院診療情報をクリック。



⑤開示医療機関の一覧が表示。診療情報を参照したい開示医療機関をクリック。

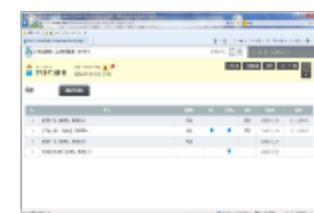
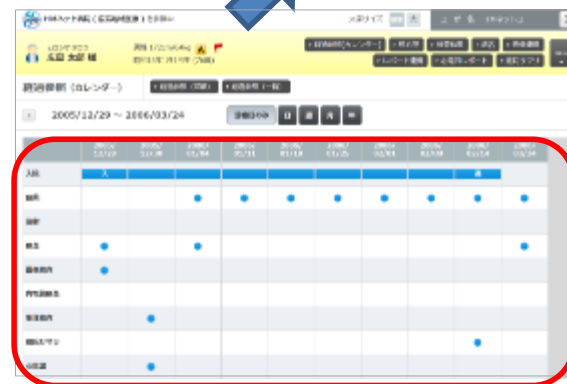
診療情報参照（閲覧）の手順

「QRコード読み取り」ボタン

 アレルギー・禁忌画面



⑤ HMカード（もしくはひろしま健康手帳アプリの「HMカードを提示する」を押下）のQRコードを読み取る



※ご注意 下記の病院は薬局からは参照できません。

- ・広島赤十字・原爆病院
- ・県立広島病院

統合参照Viewerについて

HMネット ネットワークセンターのサーバに集約された開示病院の診療情報、薬局の調剤情報、臨床検査センターの検査結果など、複数の参加施設のデータを、時系列で1画面に表示して参照できる仕組み

(HMネットポータルサイト→他院診療情報→統合参照Viewer)



The screenshot shows the integrated reference viewer interface. The top part displays a calendar for the period 2017/09/04 to 2019/04/15. Below the calendar is a table with columns for dates and rows for various medical events like admission (入院), discharge (退院), and examination (検査). A red box highlights a specific data point in the calendar. An arrow points from this box to a detailed '検査結果' (Test Results) table for the period 2017/9/5 to 2019/5/24. The table shows various test items and their results.

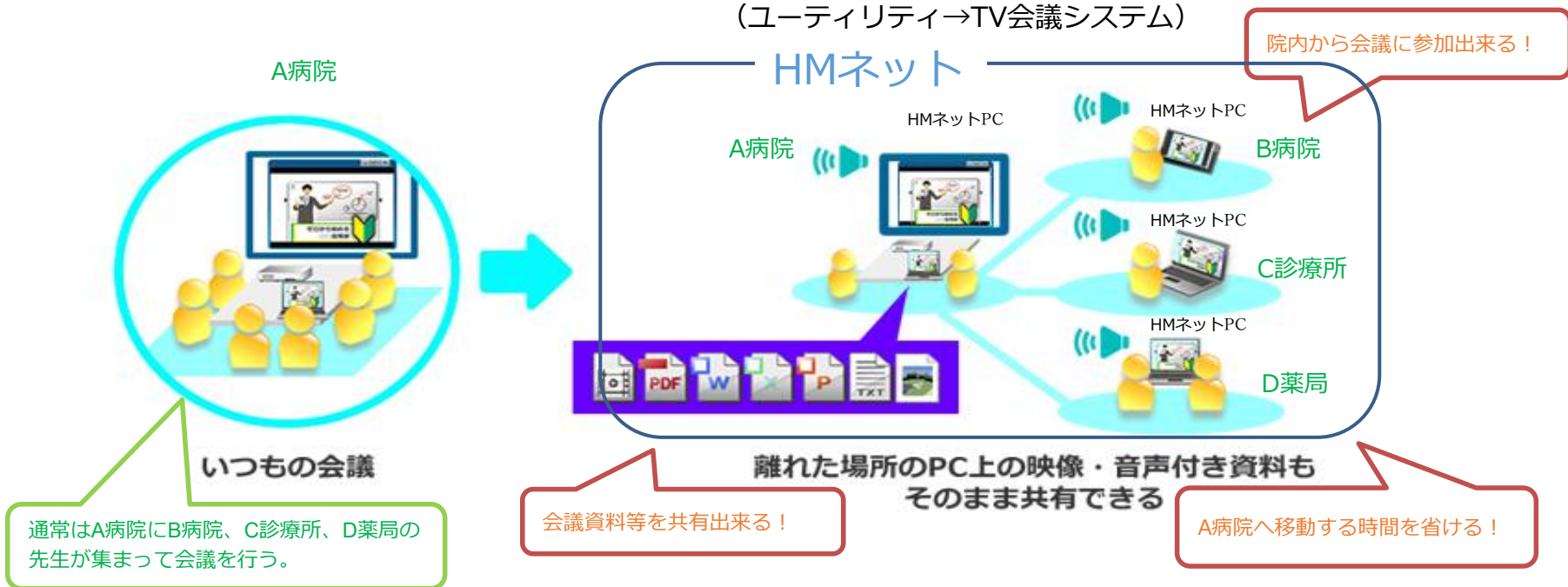
検査名	基準値	単位	2017/9/5
体重		kg	78
上海		7:19	7:19
	0 - 129	mmHg	115
	0 - 81	mmHg	70
TP	6.7 - 8.3	g/dl	6.9
Al-B	3.7 - 4.6	g/dl	7.8
Al-P	10 - 28	U/L	46
Al-T	5 - 36	U/L	29

※検査結果項目のうち41項目を臨床検査項目分類コード(JCL10)に変換して表示可能

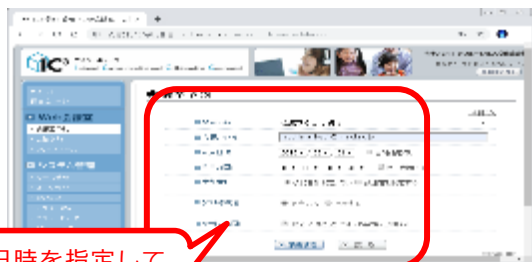
TV会議システム

HMネットのセキュリティの高いネットワーク配下で多職種間の退院前カンファレンスや病院間、病院・診療所間での小会議等に利用する事で、遠方への移動時間の削減や旅費の削減に効果が期待出来る。

※マイクスピーカーやWebカメラが必要。内蔵されているPCであれば、そのまま利用可。
(ユーティリティ→TV会議システム)



【画面イメージ】



利用したい日時を指定して会議室を予約する。



各施設のHMネット端末から予約した時間に会議室へ入室する。

HMネット切断手順

・ HMネット (VPN) 切断

①

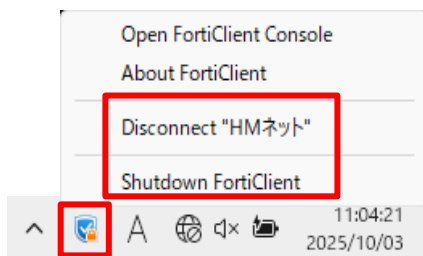


②



デスクトップ上の「HMネット接続」アイコンをダブルクリック。

「切断」ボタンをクリックし、VPNを切断します。
※上記の画面が表示されない場合は、**補足**を参照してください



※補足

画面右下のタスクバーにある「」アイコンを選択します。

「Disconnect"HMネット"」または「Shutdown FortiClient」を選択して切断します。
(「」が表示されない場合は [^] をクリックし、隠れているアイコンを表示します)

南京錠のマークが消えれば切断が完了しています。

※ 切断をすると通常のインターネット回線を利用した閲覧が可能な状態に戻ります。

患者の健康情報や命の宝箱の閲覧

簡易ポータルサイトについて

インターネットに接続できるパソコンで患者の健康情報（バイタル情報）や調剤情報、健康診断の結果の確認、HM-Box（ファイル一時共有機能）を利用できるページ。SSL電子証明書を利用することにより安全に患者の健康状態の確認や資料のやり取り等が可能。 ※VPN接続を行う必要はありません。

HMネットホームページ <http://www.hm-net.or.jp/>
 →「簡易ポータルはこちら」ボタン



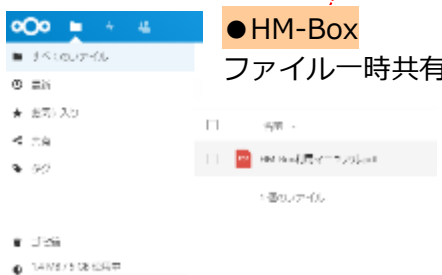
●ひろしま健康手帳ビューワ

医療従事者は患者さんがスマートフォンやパソコンで登録したバイタル情報や命の宝箱情報、薬局で受けた調剤情報を閲覧できる



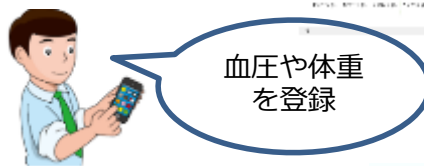
●HMカード登録確認

患者さんがHMカードを持っているか確認できる機能



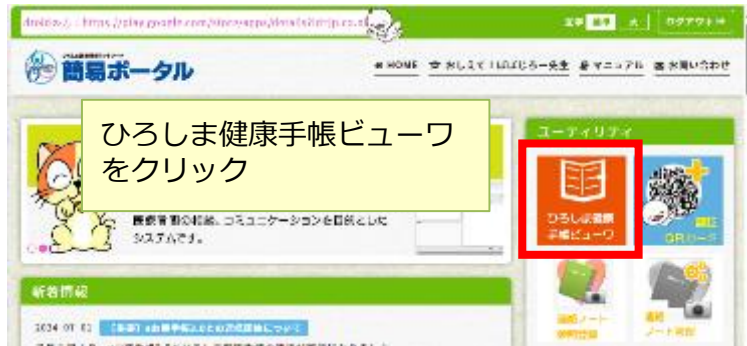
●HM-Box

ファイル一時共有機能



ひろしま健康手帳ビューワについて

● ひろしま健康手帳ビューワ閲覧手順



カード読み込み・利用者管理をクリック



閲覧先を新規連携をクリック



HMカードを読み込むまたは、HMコードを手入力して「検索」を押す



ひろしま健康手帳ビューワについて

「この方と連携する」をクリック



「カルテ番号を入力」は空欄のまま「登録しない」をクリック



一覧から参照したい患者さんのメニューをクリック



健康情報手帳



ひろしまお薬ネット



検査データ



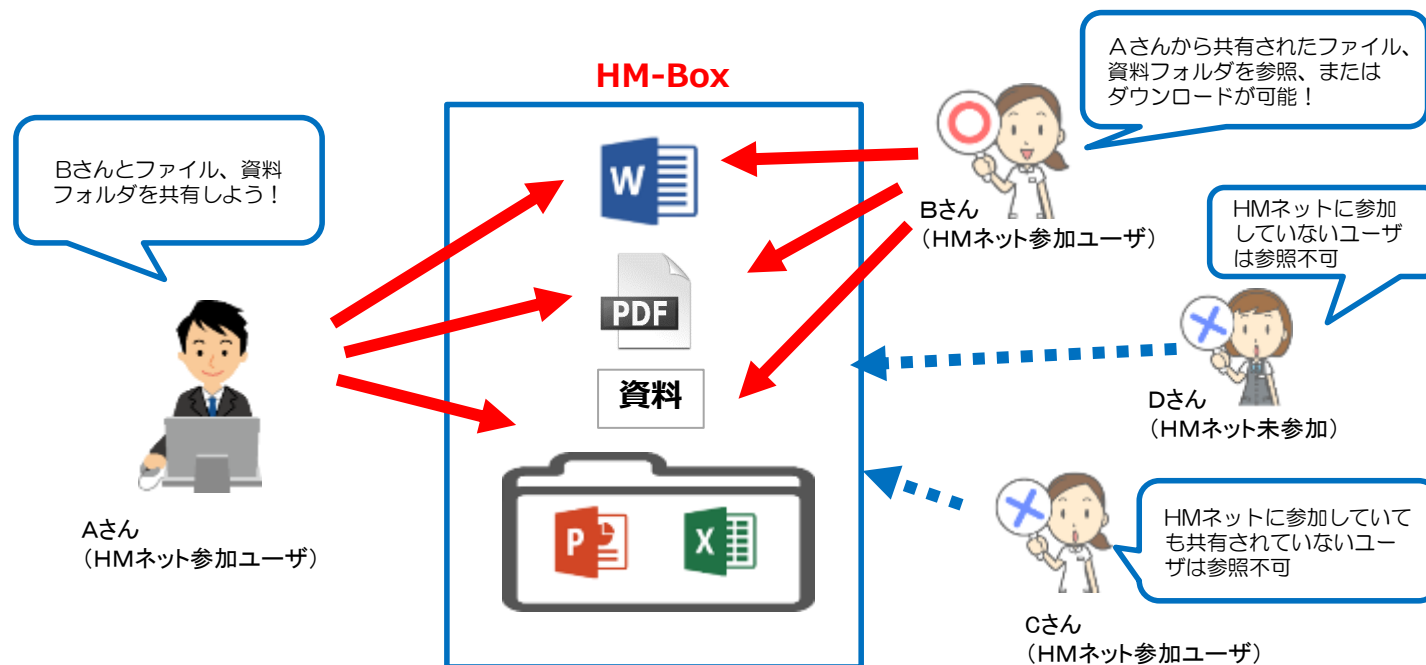
命の宝箱

HM-Box (ファイル一時共有機能)

HM-Boxとは、インターネット配下で電子証明書をインストールした端末を利用して、HMネットに参加しているユーザ間で一時的にファイルを共有出来る機能です。ユーザ間でも相手を限定して共有が出来ます。PDF、Word、Excelなど、1アカウントにつき5GBまで保管可能で、保管ファイルはファイルをアップロードした日から起算して7日経過すると自動的に削除されます。

例えば、市町と介護事業所での介護認定書類や、医師と薬剤師間でのトレーシングレポートの送受に活用することで、発行手数料や郵送料の削減、手渡しによる感染症の感染拡大防止、リアルタイムなやり取りが行えるなどの効果が期待されます。

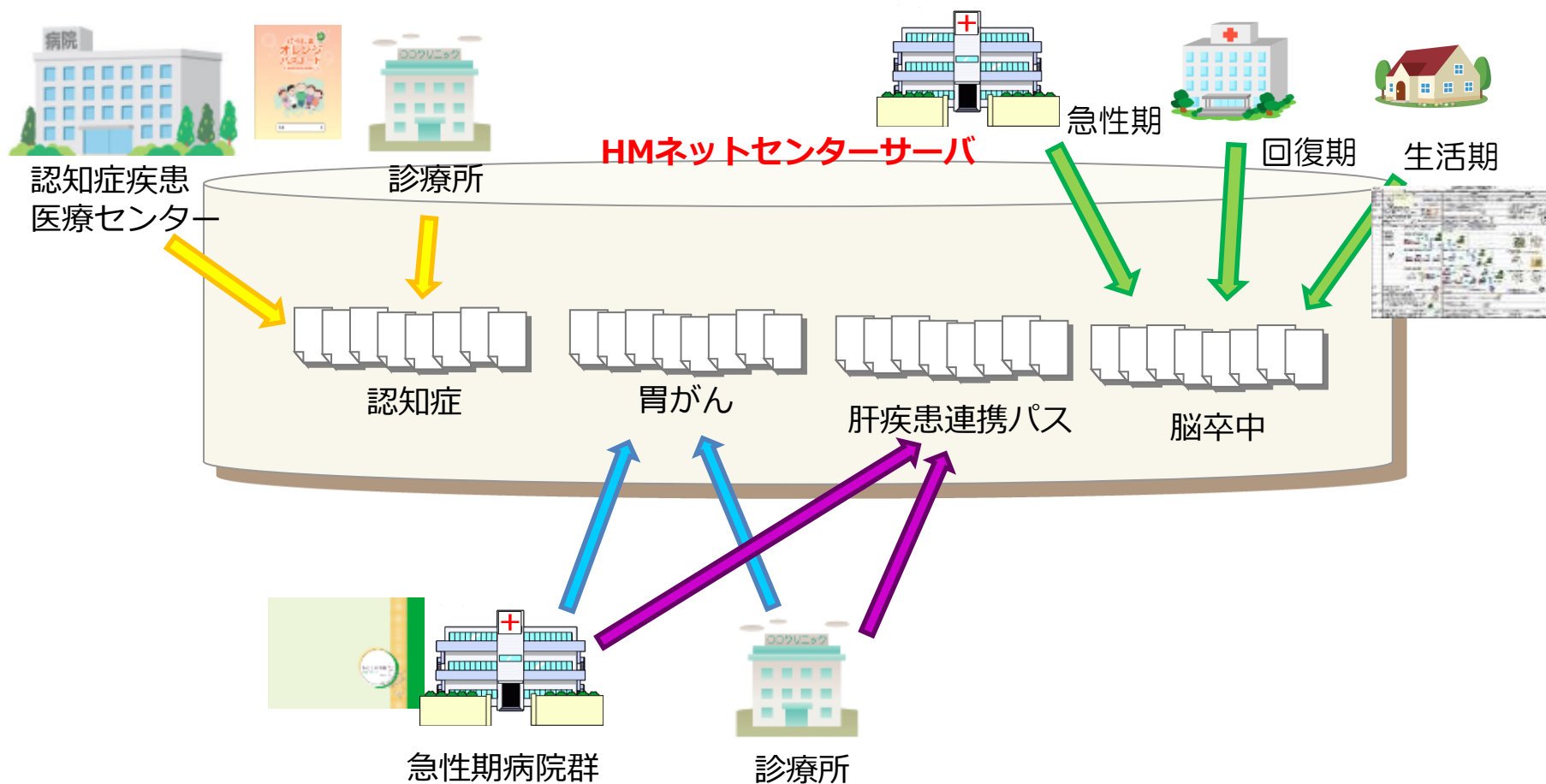
(簡易ポータルサイト→HM-Boxボタン)



その他のグループウェアについて

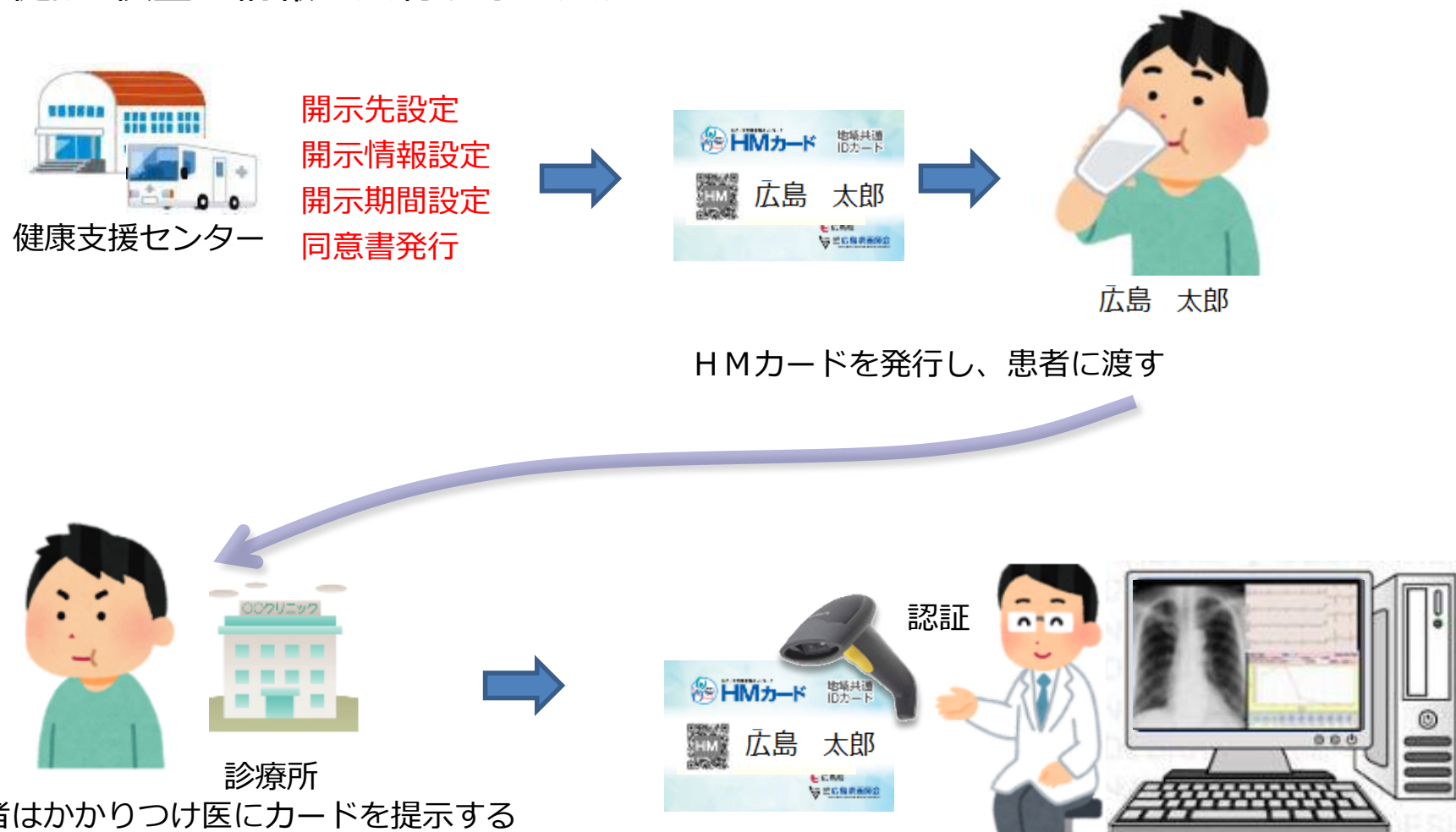
地域連携パス

紙運用している地域連携パスを電子化してセンターサーバーに情報を蓄積し、多職種で連携



健診・検査共有システム

健診・検査の情報を共有するシステム

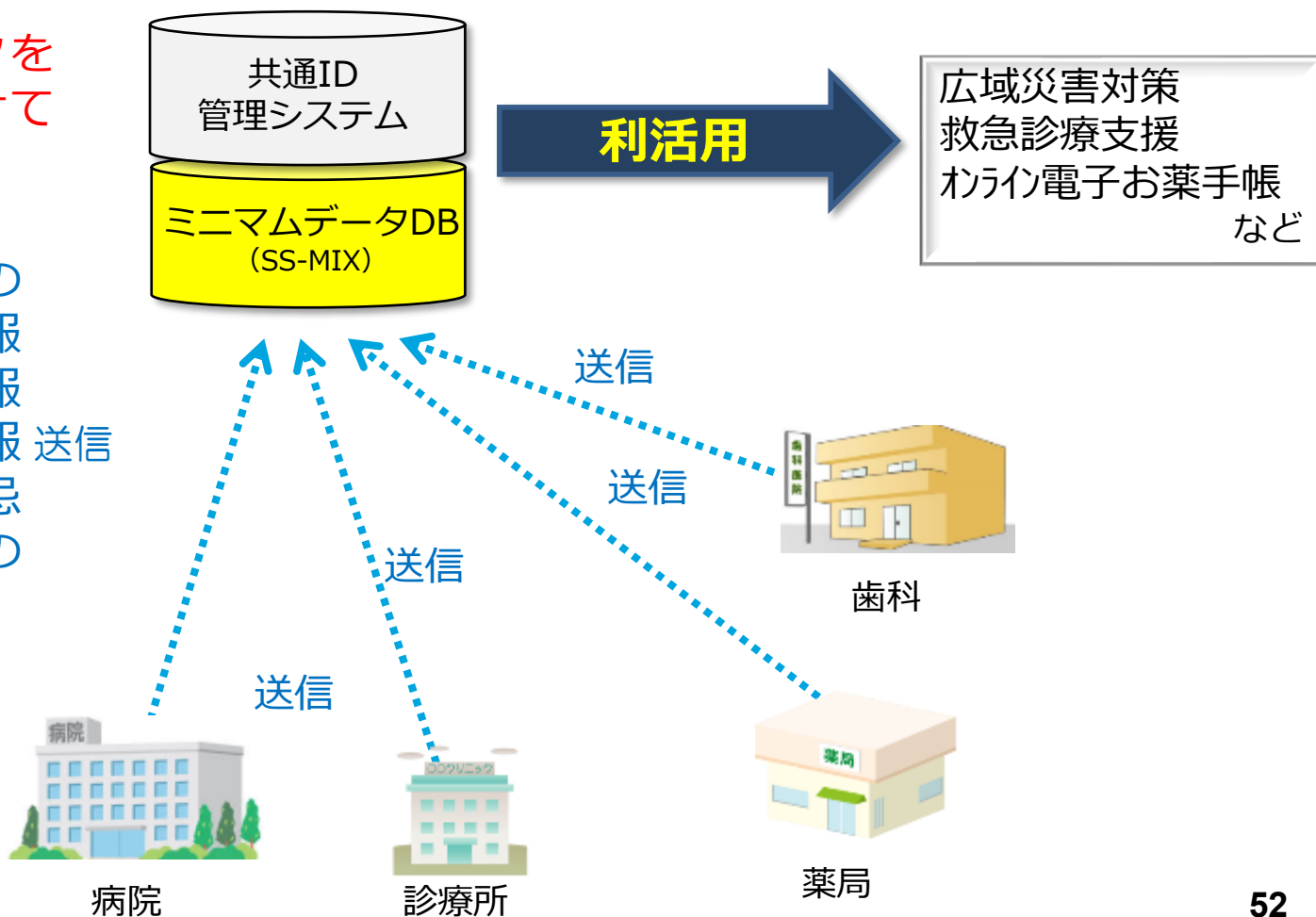


ミニмумデータ統合システム

重要最小限のデータ（ミニмумデータ）を共通IDにより集約管理し利活用

ミニмумデータを
共通IDで紐づけて
集約管理

共通ID保有者の
患者基本情報
病医院受診情報
アレルギー情報
薬剤禁忌
服薬情報等の
ミニмумデータを
送信



参加済み薬局における Q&A

Q 1. 調剤レセコンに情報がない方や処方箋を持っていない患者さんよりカード発行を受けたときはどうしたらよいですか？

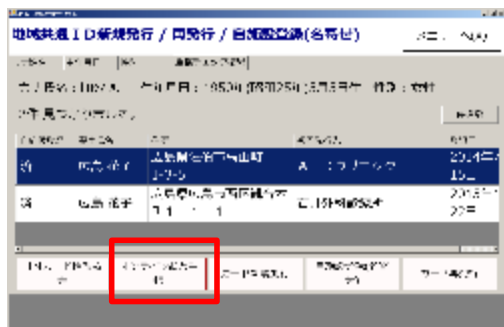
A 1. Web申請で申請するようにおすすめください。
患者さんがWeb申請を行ったのち、「バーコード印刷一覧(Web申請)」で即時発行が可能です。

Q 2. 開示病院でカード発行・名寄せをする窓口を知りたい。。

A 2. HMネットホームページ → 画面右上の「開示施設一覧」 → ※開示施設のカード受付は「こちら」からご確認いただけます。

Q 3. 患者さんがHMカードを忘れた場合でもお薬情報が参照できますか。

A 3. 名寄せを行った患者のみ参照可能です。



参加費用・利用料について

参照施設（月額利用料） ※税込

はじめてHMネットに参加される施設は
月額利用料が6か月間無料になります。

参照	月額利用
医科	¥3,500
歯科	¥3,500
薬局	¥1,500

参照施設（概算初期導入費）

	数量	初期費用	備考	
VPN証明書	1個	補助		*1
バーコードリーダー (診療情報開示カード及び HMカードの読取り用)	1台	補助	修理・追加分は自費 (¥9,072/台)	
シールプリンター(医科は希望する場合のみ)	1台	補助	修理・追加分は自費 (¥10,098/台)	
シールプリンター用テープ・HMカード台紙	1式	補助		
インターネット回線	一式	実費		
自施設の任意で設置するセキュリティ装置	一式	実費		
端末PCのセキュリティソフト	一式	実費		

*1：施設内のPCからHMネットに接続する場合に適する診療所や有床診療所、小規模病院、歯科医院、薬局向けの接続方法です。VPN証明書、ユーザーアカウントは1施設につき医師の人数+2つまでとします。

*その他 認定書やポスター、チラシを配布

導入までの流れ



申請書類を事務局に郵送

申請書類をホームページからダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、広島県医師会に郵送してください

開設までの日程を決める

設定作業から連絡がありますので、設定日時を決めます

HMネットの設定

設定作業が医療機関にお伺いして、設定作業を行います

HMネット運用開始

HMネットが、ご利用いただけます

・申請書ダウンロードページ

HMネットホームページ (<https://www.hm-net.or.jp>) ⇒ HMネットへの参加を考えられている医療機関

⇒ 参加申請書ダウンロードボタン ⇒ 参照施設 薬局用

・ご用意いただくもの

インターネットに繋がるパソコン (Windows11以上推奨)

※HMネットに接続している時は通常のインターネットは繋がらない為、支障のないパソコンをご用意ください。

お問い合わせ

HMネットサポートセンター

TEL:0829-30-0745 平日9:00~17:45

FAX:082-568-5675 Mail: info@hm-net.or.jp

一般社団法人 広島県医師会 HMネット推進課
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号 TEL:082-568-2117